



「すべてはユーザーのために」が
弊社のモットーです

- 本社所在地：千葉県千葉市美浜区新港 1 3
- 事業概要： マテリアルハンドリング機器の製造・販売
- 常時使用する従業員：77名
(2025年4月期)
- 現在の売上高： 20.6億円
(2025年3月期)
- 法人番号： 5010601045958
- Web： <https://taiyu-kabu.co.jp/base>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
田中 良和

弊社は1950年に創業して以降、「働き方改革」に密接に貢献するマテリアルハンドリング機器のパイオニアとして着実に成長してきました。特にアドボカシーマーケティングを標榜した2015年以降、「オーダーメイドで応えます」「マテハンを繋ぎます」を合言葉にお客様第一主義を貫いてきており、この10年間で売上高は概ね2倍となってきました。弊社は100年企業を目指すと共に、売上高が100億円を超える企業として「働き方改革」に貢献し、「モノづくりチーム日本」の下支えをしていきたいと考えています。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2042年に売上高100億円を達成すべく、売上高年率10%以上の成長を目指します。

課題

- 弊社が対応するマテリアルハンドリング機器の市場規模は約1500億円で、達成可能な売上高と考えています
- 課題としては、弊社の取り組み内容の世間への周知方法と生産体制の拡充（要員面・生産場所・3DCAD化の推進・生産管理システムの導入等）が必要と考えています。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- マテリアルハンドリング機器導入促進のための対策
 - ◇ホームページ・展示会・商社を活用した拡販体制の充実
- 生産体制の拡充
 - ◇生産協力会社の拡充（必要に応じM&A）の実施
 - ◇3DCADの導入
 - ◇生産管理システムの導入による生産体制の効率化の達成
- 新規事業（自動機械分野への参入等）の模索

実施体制

- マテリアルハンドリング機器導入促進対策
 - ⇒ HPの拡充・展示会展等実施中（更なる拡充が必要）
- 生産体制の拡充
 - ⇒ 3DCAD導入についてはプロジェクトチーム立ち上げ中
 - ⇒ 協力会社拡充と生産管理システム導入は今後の課題
- 新規事業の模索
 - ⇒ 良い案があれば果敢に取り組む所存

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

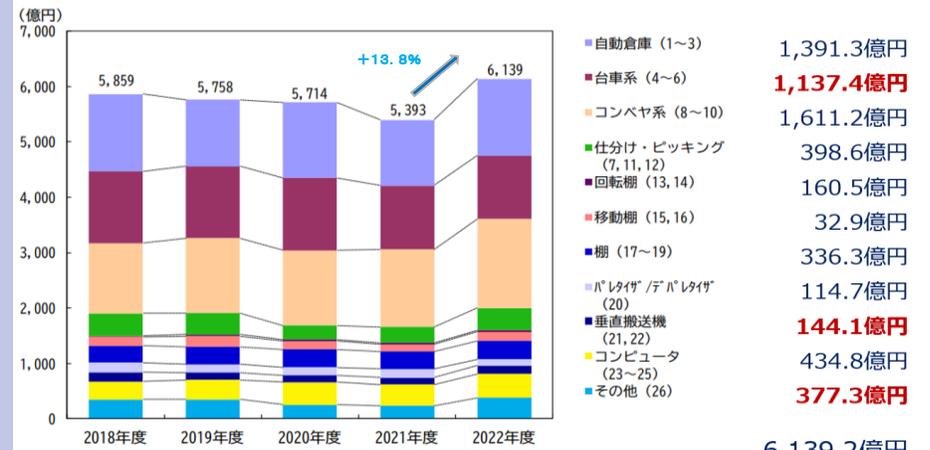
売上高100億円実現の目標と課題

【事業展開構想】

- 日本ロジスティック協会の「物流システム機器生産出荷統計」によれば、当社対応のマテリアルハンドリング機器（台車系、垂直搬送機等）の市場規模は概ね1500億円と思われ、「働き方改革」が提唱されて以降、年年歳歳市場は急速に拡大傾向にあります。この為、この分野を丁寧にカバーしていけば目標達成は可能と考えています。
- 特に、今後の技術進歩により、燃料電池系（水素 or アンモニア）のハンドリングも重要になると思われる為、この点にも注目していきたいと考えています。
- 更に、これら事業を拡大する中で、生産量の増加に対応すべく生産体制を拡充することが必須となります。その際、全て当社で拡充していくには、対応要員（検討・実施部隊）が不足することは目に見えているので、外注化の拡充を推し進めると共に、M & A等による垂直統合を強化し、事業の拡大を図っていきたいと考えています。
- また、現在はコアの生産工程をサポートするマテリアルハンドリング機器の製造販売が主体ではありますが、将来的には現状の技術を活用した生産ライン・生産機器への参入も視野に入れ、必要に応じM & A等で実現していきたいと考えています。

マテハン市場規模

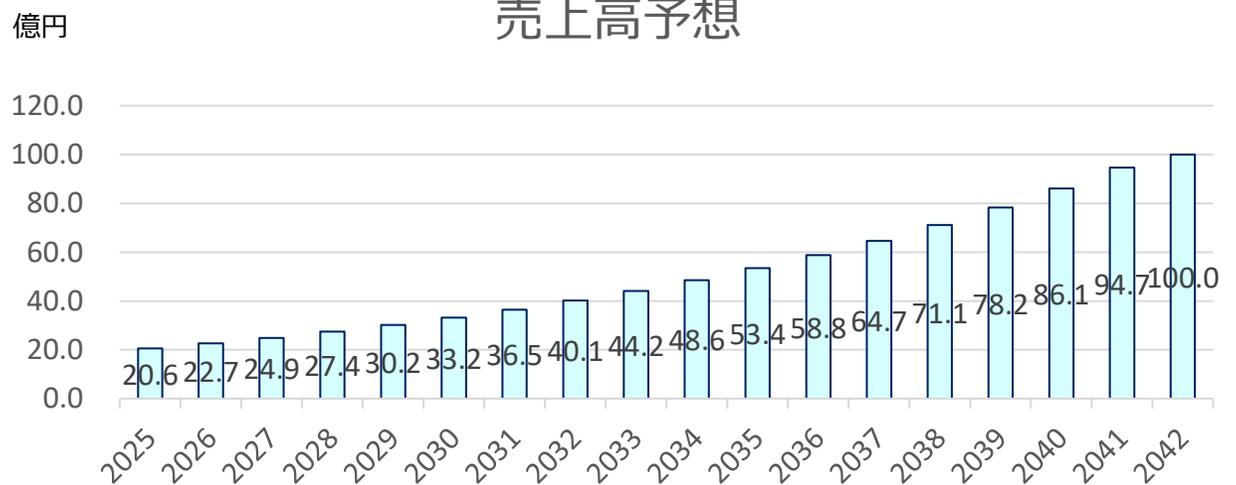
□ 市場規模と過去5年間の推移（2023年度版）



金額	585,870	575,756	571,403	539,301	613,916	(百万円)
前年比	127	98	99	94	114	(%)

(出典: 2023年度 物流システム機器生産出荷統計 by 日本ロジスティックシステム協会 © 2024 TAIYU Corporation)

売上高予想



□ 大有

100億
達成